

重症心身障がい・医療的ケア児を 対象とした放課後等デイサービス事業所の 状況と課題

フォレストケア取締役 統括部長／介護福祉士

フォレストケア大山 児童発達支援管理責任者 井上智子

フォレストケア中板橋 児童発達支援管理責任者/介護福祉士 須永則子

令和7年 2月5日

目次

➡ ①事業所紹介

- ・ 株式会社 フォレスト・ワンとは
- ・ フォレストケア設立経緯、人員配置、送迎について
- ・ 実施内容（フォレストケア1日の流れ）

➡ ②地域課題

株式会社 フォレスト・ワンとは

- ▶ 商号：株式会社フォレスト・ワン
- ▶ 本店：東京都練馬区下石神井6-6-17
- ▶ 設立：平成24年11月1日
- ▶ 取締役：代表取締役 井上正臣 取締役 井上智子
- ▶ 社員：37名（常勤21名、非常勤16名）
* 社員には役員含む。非常勤には嘱託医師含む。 令和7年1月現在
- ▶ 業務内容
 - ・ 児童福祉法に基づく障害児通所支援事業 及び 障害児相談支援事業 (ほか)



フォレストケア設立経緯

- ▶ 平成24年：11月1日 株式会社フォレスト・ワン設立
- ▶ 平成24年：12月1日 事業開始
- ▶ 平成25年：1月 放課後等デイサービス フォレストケア中板橋設立
- ▶ 平成25年：8月 放課後等デイサービス 重心児5名定員 設立
- ▶ 平成26年：10月 放課後等デイサービス フォレストケア（重心児）下板橋移転
- ▶ 平成27年：8月 相談支援事業 設立
- ▶ 平成29年：1月 放課後等デイサービス フォレストケア板橋本町 設立
- ▶ 令和4年：5月 放課後等デイサービス フォレストケア大山 設立

基本方針（社訓）

正々堂々

と運営して参ります。

東京都内で1つ上の放課後等デイサービスを目指します。

せいせいどうどう

正々堂々

公正で偽りなく、真正面から事を行なうこと。

正しく整っていて勢いの盛んなさま。

正々は正しく整っている様で、堂々は威厳があって立派な様を意味する。

代表取締役 井上 正臣

医療的ケア児と重心以外・重心

➡ 重心以外

大きな特徴として挙げられるのは、障害者手帳や療育手帳を持っていなくても通うことができます。
知的障害、発達障害など

➡ 重心

重度の肢体不自由と重度の知的障害とが重複した状態を重症心身障害といい、その状態にある子どもを重症心身障害児、さらに成人した人を含めて「重症心身障害児（者）」と呼びます。

➡ 医療的ケア児

医学の進歩を背景として、NICU等に長期入院した後、引き続き人工呼吸器や胃ろう等を使用し、たんの吸引や経管栄養などの医療的ケアが日常的に必要な児童のこと（厚生労働省）

フォレストケアの人員配置

➡ 重心

嘱託医 1人
看護職員 1人以上
児童指導員又は保育士 2人以上
機能訓練担当職員 1人以上
児童発達支援管理責任者 1人以上

※5名定員に対して4～5名体制

➡ 重心以外

管理者を含めて最低4名以上

※10名定員に対して4～5名体制

フォレストケア 送迎

学校時

(重心以外：高島特別支援学校、板橋特別支援学校、王子特別支援学校 重心：北特別支援学校、志村学園)

学校から事業所 事業所から自宅

休日時

自宅から事業所 事業所から自宅

フォレストケア重心外 ～1日の流れ～

1便

学校お迎え

↓
手洗い

↓
検温

↓
集団活動

↓
おやつ

↓
お帰りの会

↓
送迎

2便

学校お迎え

↓
手洗い

↓
検温

↓
おやつ

↓
集団活動

↓
お帰りの会

↓
送迎

休業日

ご自宅お迎え

↓
手洗い

↓
検温

↓
集団活動

↓
昼食

↓
あそび

↓
集団活動

↓
おやつ

↓
お帰りの会

↓
送迎

放課後等デイサービスだからできること ～重心以外～

➡ 排泄

- 自立に向けたトイレトレーニングに力をいれている

➡ 食事

- 食具の使用、STによる摂食指導

➡ 身体機能向上

- 活動を通して体を動かす
(ストレッチ、散歩、サーキット遊びなど)

➡ コミュニケーション

- SST(ソーシャルスキルトレーニング)、絵カードなど

フォレストケア重心 ～1日の流れ～

1便

学校お迎え



手洗い



バイタル



水分



活動



おやつ



排泄



お帰りの会



送迎

2便

学校お迎え



手洗い



バイタル



おやつ



活動



排泄



お帰りの会



送迎

休業日

ご自宅お迎え



手洗い



バイタル



昼食 排泄



自由時間



活動 排泄



おやつ 排泄



お帰りの会



送迎

放課後等デイサービスだからできること ～重心～

➡ 排泄

- 便座に座る（立位の練習・移乗の練習）
- トイレチェアの使用
（成長段階に合わせて使用、自力排泄の促進）
- オムツ交換

➡ 移乗移動

- 床上から車椅子、トイレから車椅子等
- 移動（装具装着し立位・歩行等）



放課後等デイサービスだからできること ～重心～

➔ 食事

● 自助具の工夫

→スプーンにグリップ装着、エジソン箸、シリコンスプーン

● 食器の工夫

→介助皿（陶器・プラスチックの使い分け）

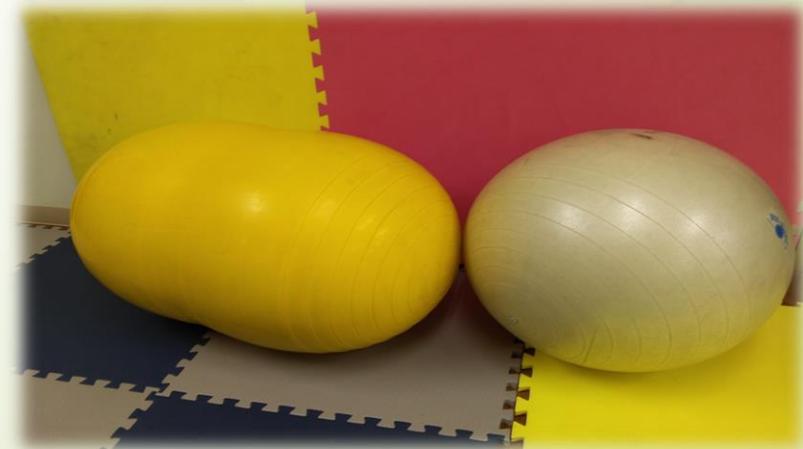
→カットコップ（シリコン・プラスチックの使い分け）



放課後等デイサービスだから できること ～重心～

▶ ポジショニング

- 安楽の姿勢：座位保持椅子、三角マット、タオル使用
- 排痰促進：側臥位、腹臥位等→三角マット、ビーズクッション
- 体幹機能の向上・維持、立ち上がり→バランスボール
- フィンガーサポート：手指の拘縮、進行予防



放課後等デイサービスだからできること ～重心～

▶ 移動手段、コミュニケーションツール

- 点字ブロック
- 点字





～個別支援計画～

- ①アセスメントにて、ご家族へ困っている事、今後の方向性を聞きます。
- ②来所時、利用者に対して、デイサービスで何が出来るか考えます。
- ③学校での指導計画書を見せてもらい、セラピストの訓練状況をご家族へ聞きます。
- ④上記を元に個別支援計画書を作成し評価しています。

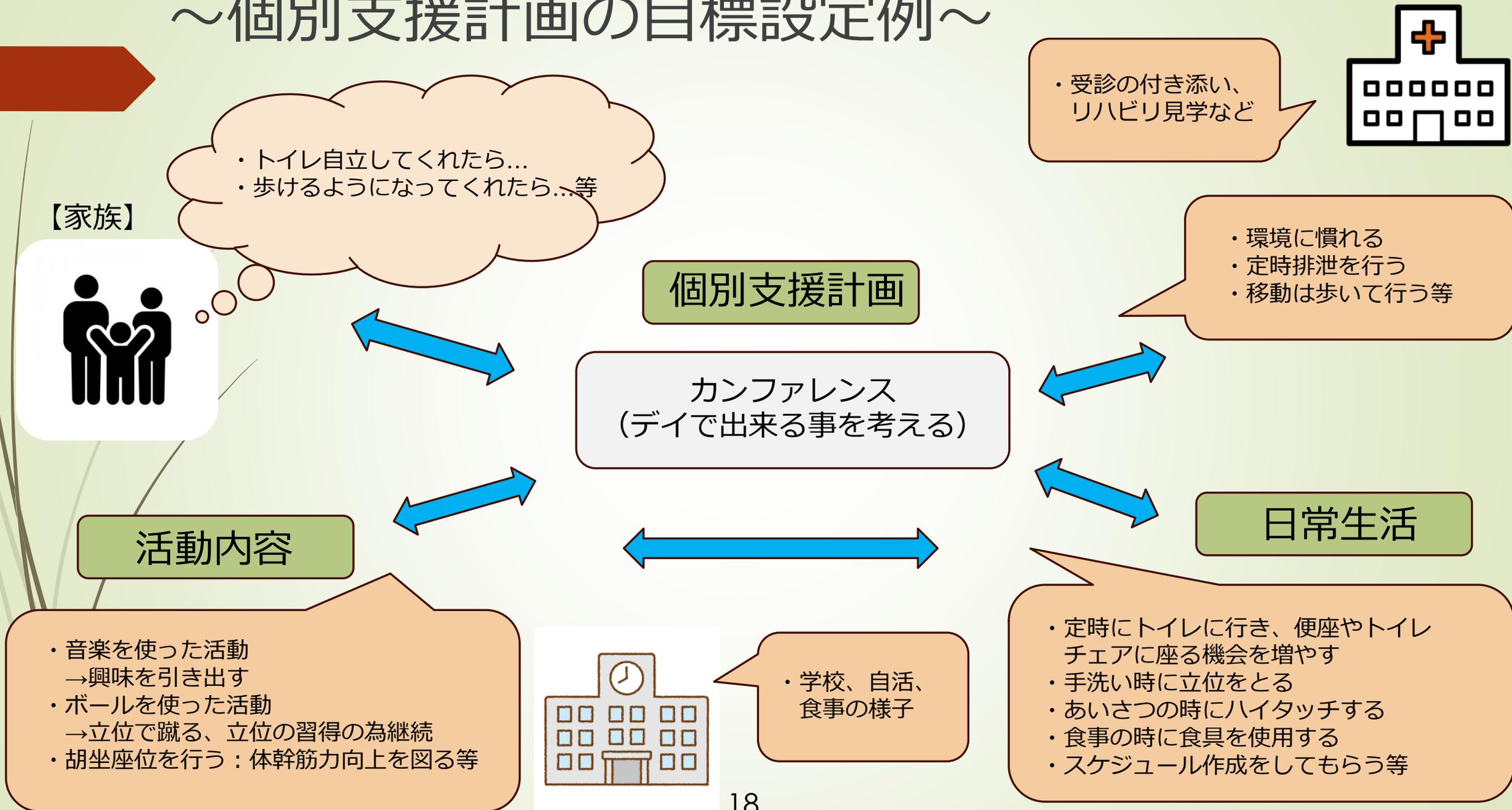
★医療ケア

必要時、担当医の指示書に基づき実施
(与薬、吸引、吸入、注入、導尿など)

指 示 書

(ふりがな) 利用者氏名				性別	男 ・ 女
生年月日	平成	年	月	日	生まれ (歳)
看護職員の 医療行為	<input type="checkbox"/> 口腔内の痰吸引 <input type="checkbox"/> 鼻腔内の痰吸引 <input type="checkbox"/> 気管カニューレ内部の痰吸引 <input type="checkbox"/> 胃瘻または腸瘻による経管栄養 <input type="checkbox"/> 経鼻経管栄養 <input type="checkbox"/> 導尿 <input type="checkbox"/> その他 (下記に内容を記述してください) ※該当する行為にレ点をつけてください				
指示内容					
看護職員の 医療行為					
上記の利用者に対して、看護職員等が上記の医療行為を実施することを承諾します					
年 月 日					
株式会社フォレスト・ワン			医療機関名		
代表取締役 井上正臣					
フォレストケア下板橋					
フォレストケア板橋本町			医師氏名		
フォレストケア大山			印		

～個別支援計画の目標設定例～



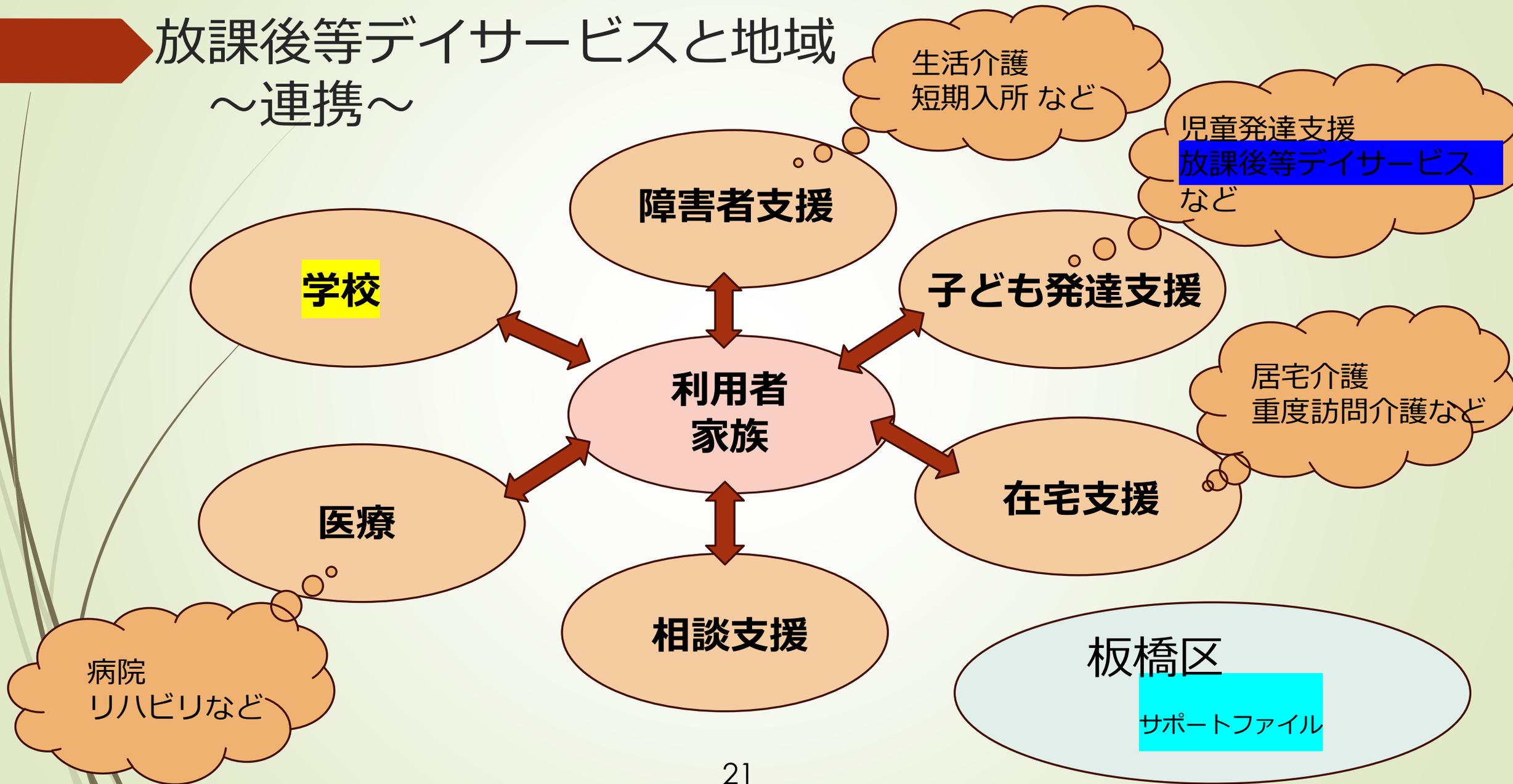
フォレストケアの考え方

- ◇スタッフを通して普段できない経験・体験をしてもらいたい。
- ◇ただ預かるレスパイトではなく、ご家族様と一緒に個々の成長を見ていきたい。
- ◇日々、色々な活動・他者との触れ合いの中で、一つでも出来るようになった事を、個々の発達段階の一部かもしれないが、ご利用者様の経験に繋がる支援をしていきたい。
- ◇ご家族様・学校・福祉事務所の方々と連携を図り、ご利用者様に寄り添ったデイサービスにしていきたい。
- ◇専門知識を持った安心できるスタッフ、環境作りを心がけ、ご利用者様に喜びを感じて頂けるよう努力を惜しまず、より良い日常を提供していきたい。

②地域課題

- ▶ 親と兄弟との時間をもってもらおう
- ▶ 兄弟の行事などに参加してもらおうための受け入れ
- ▶ 保護者のメンタルヘルスケア 年に2回面談実施、都度対応している
- ▶ 保護者とのコミュニケーションをとりながら送迎の時に気づくことの共有
- ▶ 放デイを利用することで得られるもの...学校以外で受けられる療育
- ▶ 重心ではない医療的ケア児の受け入れについて
 - ・ 医療的ケア児を受け入れられる事業所作りに向けた課題
 - 課題) 重心以外で看護師を配置するむずかしさ
 - 行動特性のある重心以外の児と互いに安心・安全に共存していく環境作り
- ▶ 利用相談
- ▶ 痰吸引研修等

放課後等デイサービスと地域 ～連携～



ご清聴ありがとうございました